



浄土真宗は「ダメ人間」のための教えだと言われている。自分は「ダメ人間だ」と心から頭が下がらなければ、暗闇の世界から抜け出すことはできないという教えでもある。そういう意味合いからすれば、真宗門徒として生きるということは「どうすれば偉い人になれるのか」ではなく、「どうすればダメ人間を自覚できるか」ということが最大の課題ともなってくるのだ。

頭を「下げる」ではなく、「下がる」ということは文句なしの懺悔でもあることから、そこには利害から生じてくる形式化された思いではない。ただ心からの顔きの表出としての「下がる」ということになるのである。「俺が、俺が」の生き方には、「下がる」という自覚が促されてくることはないということであろう。

私たちは「下がる」ご縁の日常を生きていながらも、阿弥陀如来の光によって常に照らしていただいている真実の姿に目覚めさせていただくことはなかなかできないものだ。それは凡夫の身であることの悲しさなのだろうが、だからこそ如来の凡夫を憐れ続けて下さっているお慈悲におすがりするほかないのである。

「自力から他力へ」、「生きているから生かされているへ」さらには「生かして、生かされて、生きているへ」の自覚を深め、感謝の人生を歩もうではないか。

お盆を迎えるにあたって

T S

昔、日本ではほとんどの家庭にお仏壇があつて、子供たちは祖父や祖母や、両親が日常的にお参りしている姿を見ながら、自然とお仏壇やお墓に向かつて手を合わせることを覚えていきました。そうした習慣の中から、子供たちは命の大切さや思いやり、家族の絆というものを自然と身に着けていったのではないのでしょうか。

しかし、戦後の高度成長とともに人々は仕事を求めて都会に出かけていくようになり、家族が離れ離れになっていくことで、次第にかつての日常は失われていきました。手を合わせる機会がめっきり無くなり、お参りする意味が見いだせなくなった大人も多いのではないのでしょうか。

また同時に親殺しやいじめ、自殺といった社会問題も大きくクローズアップされるようになり、食べ物や生き物の命を粗末にし、自分の利益ばかりを優先して他人への思いやりができない人間が多くなってきたようにも思えます。

今や世界から真面目で礼儀正しく優しいと称賛された国民性は失われつつあります。

私は常々思うのです。子供を良い子に育てなければ手を合わせる子に育てればよいのではないかと。そこには何の言葉も必要がない。ただ大人の姿を見せることの大切さを思うばかりです。

今年もお盆の頃となりました。平生は散り散りとなっていた家族も、お盆をご縁として心を一つにし、今ある「いのち」の不思議さと尊さに思いを致していただけたらと思うのです。それはまた家族一人ひとりが「感謝」に生きるこの大事さを確認する機会にもなるのではないでしょうか。

先祖のためではなく私のために、そして家族のために手を合わせる縁としていただけたらと思うのです。



秋季永代経のご案内

九月二十二日 秋分の日) お斎あります



午前 九時半 お勤め 十時半 法話 寺族にて

午後 十二時 お勤め 十二時半 **落語**



落語

笑福亭智丸さん

聞きに来てね！
お待ちしております。



光受寺喫茶を始めて一か月余り

毎週金曜日には聴風庵において、お茶を飲みながらの歓談会を行っています。

今までのところ、平均4名ほどの方が来寺いただいております。

光受寺とは今までに縁のなかった方々も4名ほどお越しいただきました。

ありがとうございます。

光受寺通信がほしいと言われる方や、つい先口にはポケモンを探しながらの若者も来てくれました。どうやら光受寺は墨俣の一夜城、脇本陣と地図上の起点になっているようで、ポケモン捕獲のアイテムを手に入れる場所のようです。

ただ何となく訪れていたただけのこと
を期待してお待ちいただいております。

7月の学習会 のご報告より

7月9日(土)
17時～



孫の導師で正信偈を読む

Mさん一家の
家族との
関わり方
(孫たちの栽培
体験と祖先祭)

Mさんご家族は年に何回かは家族そろって祖先祭と名付けられた家族での行事を執り行っておられるという。神様と仏さまへの感謝の思いを家族全員で表す行事のようだ。導師も交代で行われ、家族の絆の強さを窺い知ることができる。

また、Mさんは孫たちに作物栽培の体験を通し、豊かな心の育成を願っておられるようで、今回はその長年にわたって残された映像をもとに研修させていただきました。



孫たちによる黒豆選別作業



ジャガイモの収穫作業

昔では当たり前にあった光景が今では目にすることがずいぶん少なくなりました。

「のち」の大切さも、働くことの意味も、協力することでも、優しさも、そして感謝も、その体験を通して育まれていくように、これからもごお念仏の相続の姿なのではないかと思われたことでした。 ↑ **上**



孫たちによるお磨き風景

九月の学習会

第二土曜日 十日 午後七時～

八時半

法話と座談

新聞原稿求む

内容・ジャンル不問可。

責任をもち記事書いてくださる方、お待ちしています。